ソフトウェアを利用する皆様へ

製品利用者向けガイド

事前準備不足が招く抜け穴

ソフトウェア調達の不備

運用ミスによる脆弱性の放置

システム・サービスのライフサイクル全体で考える脆弱性対処

2026年3月公開

CSIRT体制の未整備

必要プロセスの未整備

ガバナンスの機能不全

脆弱性対策には体制・プロセスの整備が重要

必要な人材・プロセス・技術の整備は経営者の責務である

脆弱性対処はあなたの会社と事業を守るための重大な『経営課題』

https://www.ipa.go.jp/security/guide/vuln/for_dev_user.html

製品利用者向けガイド

製品利用者が抱える悩み

セキュアなソフトウェアを選定・調達して、脆弱性が発見された際にもしっかりとしたサポート・パッチを受けたい

発見された脆弱性や、脆弱性に起因して発生したインシデントに迅速に対応し、利用するソフトウェアのセキュリティを維持したい

経営層が果たすべき役割

社内で利用するソフトウェア製品のセキュリティを確保する役割を担うCSIRT体制の構築

外部委託や組織間の連携強化を効果的に活用した必要な人材・プロセス・技術の整備

製品利用者において実施すべき脆弱性対処を紹介

ライフサイクルに沿った脆弱性対処の取組

- 「計画・要件定義」の段階の体制整備
- 「調達」におけるセキュリティ要件の定義
- ソフトウェアの「導入」における事前準備
- ソフトウェアのセキュアな「運用」
- ソフトウェアの利用終了時の適切な「廃棄」　など

開発・調達形態に応じた対策の取組

- ソフトウェアを外部から調達する際の確認事項
- SaaSやクラウドサービスを利用する際の留意点
- 自社でシステム・サービスを開発する場合のセキュアな検討
- システム・サービスの開発を外部委託する際の要件定義　など

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
セキュリティセンター

〒113-6591 東京都文京区本駒込二丁目 28 番 8 号
文京グリーンコートセンターオフィス 16 階
TEL:03-5978-7527 FAX:03-5978-7552
mail to:vuln-inq@ipa.go.jp URL:http://www.ipa.go.jp/security/